

1 単元 Program 6 A Work Experience Program

2 単元の目標

- (1) 不定詞を用いての言語活動に積極的に取り組もうとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 不定詞を用いて自分や身の回りのことを表現することができる。(外国語表現の能力)
- (3) 本文を聞いたり読んだりしてその内容を理解することができる。(外国語理解の能力)
- (4) 不定詞を用いた文の構造を理解している。(言語や文化についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 教材観

本単元では、中学生の由紀、武史、桃子が職業体験を通して学んだことをウッド先生に話したり、クラスの中で将来の夢について発表したりする場面が取り上げられている。そのため、自分の将来について考えたり、職業観を深めたりするには有効な題材である。また、本校の生徒は6月に職業体験を経験しており、自分のこととして職業体験で学んだことや将来の夢について書いたり話したりすることができる。そのため、本題材は、英語によるコミュニケーション能力を育むとともに、英語学習への意欲を高めるのにふさわしい。また、新出言語材料 to 不定詞を使って自分のしたいこと、行動の目的、何をするためのものかを英語で表現する能力と、それらを積極的に相手に伝えようとする態度を育成することをねらいとしている。

(2) 生徒の実態(男子\*名, 女子\*名, 計\*名)

全体的に英語学習に対する関心は高く、与えられた課題に真剣に取り組んだり、ALT や JTE と積極的に英語でコミュニケーションを図ったりと、意欲的な姿勢が随所に見られる。しかし、一方では、基礎学力を定着させるために欠かせない地道な努力を疎かにしたり、課題の提出期限を守らなかったりと、改善すべき課題を抱えている生徒もいる。

また、1学期に実施した授業アンケートでは、「授業に楽しく取り組んでいる」という質問に対して、「そう思う、まあまあ思う」と答えた生徒が\*%に達することがわかった。一方、「わからない問題について質問をして解決しようとしている」という質問に対して、「あまり思わない、思わない」と答えた生徒が\*%に達することがわかった。そこで、前者を本学級の長所、後者を短所として捉え、それらの実態を念頭に置いて授業に臨みたい。

(3) 指導観

新出言語材料 to 不定詞は、同じ【to + 動詞の原形】の形であっても名詞的用法「～すること」、副詞的用法「～するために」、形容詞的用法「～するための」と、文の中で意味が変化する。従って、まず、会話しやすい話題を用いて不定詞の意味に気付かせたい。次に、自分のしたいことやその目的等を英語で表現するとともに、それらを積極的に相手に伝えようとする態度を身に付けさせたい。それらの目標を達成するために、自然な場面設定と生徒の関心意欲を高めることができる目標や言語活動を取り入れたい。さらに、授業内外においてALT, JTE, 他教科教員と英語でコミュニケーションを図れる場面を多く設定することで、生徒に英語でコミュニケーションを図ることの楽しさを味わわせたい。また、座席をコの字型にしたりペアや意図的編成小グループ(グループ間等質・グループ内異質)を取り入れたりすることで、学習効果を高めたい。そして、前述した本学級の短所を解消するために、3人の教師がこまめに机間指導をして生徒とのコミュニケーションを密にすることで、わからない問題に対して質問しやすい雰囲気を作りたい。

4 指導計画(5時間扱い)

次	時	学 習 活 動	関	表	理	知	評 価 計 画	
							評 価 規 準	
1	①	自作補助教材 My Plan を活用して新出単語の意味や用法を調べる。	○			◎	新出単語の意味や用法を理解することができる。(My Plan)	
2	②	不定詞の名詞的用法を用いて自分がしたいことを表現する。		◎		○	不定詞の名詞的用法を用いて自分がしたいことを表現することができる。(My Plan, 観察, 発表)	
	③	不定詞の副詞的用法を用いて行動の目的を表現する。		◎		○	不定詞の副詞的用法を用いて行動の目的を表現する。(My Plan, 観察, 発表)	
	④	不定詞の形容詞的用法を用いて無人島での必需品ランキングを作成する。		◎		○	不定詞の形容詞的用法を用いて無人島での必需品ランキングを作成することができる。(My Plan, 観察, 発表)	
	⑤	本文を聞いたり読んだりしてその内容を理解する。			◎	○	本文を聞いたり読んだりしてその内容を理解することができる。(My Plan, 観察, 発表)	

5 本時の指導

(1) 目標

- 不定詞の形容詞的用法の形、意味、用法を理解することができる。  
(言語や文化についての知識・理解)
- 不定詞の形容詞的用法を用いて無人島での必需品ランキングを作成することができる。  
(外国語表現の能力)

(2) 準備・資料

My Plan(自作補助教材), ワーク, CD プレーヤー, TV, PC, デジタル教科書, 学習カルテ

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点 (○は個への配慮) と評価
<p>1 既習内容を用いてウォームアップをする。</p> <p>(1) LET'S CHAT 自由な雰囲気英会話をする。</p> <p>(2) THE CHANTS 既習の重要言語材料を歌とリズムで復習する。</p> <p>(3) SUPER INPUT 既習の重要文を口頭で復習する。</p> <p>2 前時までの内容を復習する。 既習の単語と不定詞の用法(名詞的用法と副詞的用法)を確認する。</p> <p>3 本時の課題について学ぶ。</p> <p>(1) 新出単語を確認する。 housework, banana, factory, useful engineering, important, subject</p> <p>(2) 本時の課題を導入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>無人島での必需品ランキングを作成しよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A: I need something to eat. What do you need? B: I need something to make fire with.</p> </div> <p>(3) パターンプラクティスを通して課題を口頭で練習する。</p> <p>(4) ワークを活用して基礎問題に取り組む。</p> <p>(5) My Plan を活用してインタビューを行い、その結果をまとめてランキングを作成する。</p> <p>(6) 作成したランキングをグループ内と全体で発表する。</p> <p>4 本時のまとめをする。</p> <p>(1) パターンプラクティスを通して本時の課題を再確認する。</p> <p>(2) 学習内容をノートにまとめる。</p> <p>(3) 学習カルテを活用して本時を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語学習の雰囲気を作るために、学習ペアと英語でのあいさつと簡単なQ&amp;Aを行う。</li> <li>雰囲気を盛り上げるために、リズムに合わせて大きな声で歌うよう助言する。</li> <li>○JTEは英語が苦手な生徒を中心に支援し、自信をもたせる。</li> <li>生徒の意欲を高めるために、最高得点を目指すよう助言する。</li> <li>不定詞の形容詞的用法の導入を円滑にするために、既習の名詞的用法と副詞的用法を再確認する。</li> <li>新出単語の定着を図るために、繰り返し練習する。</li> <li>集中力を高めるために、リズムカルかつスピーディーに行う。</li> <li>生徒の関心を高めるとともに、視覚的な面からも理解を促すために、映像を活用する。</li> <li>円滑に導入するために、課題となる部分は強めにはっきり発音する。</li> <li>視覚的な面からの理解を促すために、デジタル教科書を活用する。</li> <li>○JTEは英語が苦手な生徒を中心に、ALTはそれ以外の生徒を中心に支援する。</li> <li>学習効果を高めるために、意図的編成小グループを活用する。</li> <li>分かろうとする気持ちを培うために、グループ内で協力して課題に取り組むよう助言する。</li> <li>できる喜びや達成感を味わわせるために、はじめに大部分の生徒が達成可能な初歩的な課題を与える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(評) 不定詞の形容詞的用法の形、意味、用法を理解することができる。(観察, My Plan, 発表)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(評) 無人島での必需品ランキングを作成することができる。(観察, My Plan, 発表)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>新出言語材料の定着を確認するために、JTEとALTで生徒にインタビューする。</li> <li>○自信と学習意欲を高めるために、生徒の努力を大いに称賛する。</li> <li>内容の濃いノート作りを促すために、板書事項だけではなく自分で気づいた点なども書くよう助言する。</li> </ul>